

【募集要項】

・参加費：16,500円（税込）

オンデマンド3か月＋グループワーク2日間＋視聴用テキスト

・申込締切：2023年11月30日（木）

・募集対象：70～80名予定

（医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、他医療職）

・申込方法：よこはま乳がん学校のホームページ <http://www.yokohama-bcs.com/> へアクセスし、必要事項を入力してください。応募者が定員を超えた職種では、記入事項を参考に受講生の選考を行う場合がありますので記入漏れのないようご注意ください。

・受講についての連絡：応募者全員にメールで受講の可否を連絡いたします（12月末頃）。
* 携帯メールを使用している方は携帯電話の受信設定（ドメイン設定の変更）をお願いいたします。
* 応募者多数の場合は、一部の方に来年度以降での受講をお願いする場合あることをご了承下さい。

【注意事項】

研修参加にあたり下記の注意事項をご確認頂き、同意の上お申し込みをお願いします。

- 予め視聴用のPCへZOOMをインストールの上ご参加ください。グループワークを行うためタブレット、スマートフォンではなくPCを推奨いたします。
- Web講義の利用にかかわる通信料・接続料等一切の費用は利用者の負担とします。
- 本webによるグループワーク不参加の場合でも返金はありませんのでご了承ください。

【補講（ミニレクチャー）について】

グループワーク前に参加無料の補講を、乳がん学校運営委員がZOOMで実施いたします。独学では理解することが難しい「ご自身の職種外の知識」について、ここで予習をすることで、グループワークをより充実したものに！

- テーマ：「乳がんのチーム医療に必要な、職種外の基礎知識を学ぼう！」
- 対象者：よこはま乳がん学校第13期の受講生で、職種外の知識に不安を感じている方。



受講イメージ



乳がん学校の活動が、第6回「昭对上條医療賞」を受賞しました！

2019年に優れた医療人を育成する取組として表彰されました。

【お問い合わせ先】 NPO法人神奈川乳癌研究グループ・よこはま乳がん学校事務局

ファンメディケーション株式会社 内 担当：森本

TEL：042-401-8825 E-mail：yokohama@funmedi.co.jp



お申込はこちら↑

2023年度 よこはま乳がん学校 — 第13期生 —



よこはま乳がん学校

NPO法人 神奈川乳癌研究グループ(KBOG)

【後援（昨年度実績）】

日本乳癌学会 日本癌治療学会 日本臨床腫瘍学会 日本緩和医療学会
日本サイコオンコロジー学会 日本がん・生殖医療学会 日本がんサポーターケア学会
日本臨床腫瘍薬学会 日本緩和医療薬学会 日本がん看護学会 日本放射線技術学会
日本生殖心理学会 日本乳がん看護研究会 日本診療放射線技師会 日本臨床心理士会
神奈川県医師会 横浜市医師会 神奈川県病院薬剤師会 神奈川県看護協会
神奈川県放射線技師会 千葉県放射線技師会
神奈川県 横浜市医療局

あいさつ

現在、日本では毎年10万人以上の女性が新たに乳がんと診断されます。検診の普及、治療法の目覚ましい進歩により85%以上の患者さんは乳がんを克服することが出来るようになりました。国が掲げる「がん対策基本計画」にも示されるように、近年の乳がん診療では「がんになっても夢や希望を叶えたい」というサバイバーシップが重要視されています。「乳がんは治った・・・でも仕事を失った、夢をあきらめた」というのでは、長期間にわたる闘病生活が報われません。「患者中心の医療」を実践するために、医療者は患者さんの想いや価値観を共有し、「乳がん克服後」の未来を見据えた治療戦略を練っていくことが大切だと考えています。そのためには、医師だけではなく看護師、薬剤師、診療放射線技師、医療ソーシャルワーカーなど多くのメディカルスタッフによるチームサポートが不可欠となります。よこはま乳がん学校は、2007年7月に「患者中心のチーム医療を推進する」ことを目的に設立され、これまでに12回の講座を開催してきました。この16年の間に、日本全国でチーム医療の重要性が広まり、よこはま乳がん学校がチーム医療の普及に大きく貢献してきたことを誇りに思っています。2023年春までに、日本全国から860名の医療者がよこはま乳がん学校のプログラムを修了しました。乳がん学校の特徴は、実際の医療現場で患者さんに接する医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど、多くの医療専門職が同じ講義を受け、その知識をグループワークで実践する体験型医療講座となっていることです。

よこはま乳がん学校は、2012年10月から青森乳がん学校、2015年2月から沖縄乳がん学校、2022年8月にはにいがた乳がん学校を共催し、「地域に根ざしたチーム医療」を普及させるために日本全国で活動してきました。よこはま、青森、沖縄、にいがたを含め、合計1,905名の医療者がそれぞれの地域でチーム医療の先駆者として活躍しています

今年度のよこはま乳がん学校もWeb形式で開催いたします。E-Learningでは乳がん診療に関する基礎知識から最新情報まで、全15講義(プログラム参照)を準備しています。グループワークは2日間、Zoomを使ってディスカッションを行います。がんと闘う患者さんとそのご家族へ、少しでも多くの「元気」と「勇気」が届けられるよう、皆さんと一緒に「患者中心のチーム医療」を創っていきたいと思っています。日本全国の施設から、さまざまな職種の方々にご応募いただきますようお願い申し上げます。

NPO法人 神奈川乳癌研究グループ理事長
昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学部門 教授
昭和大学横浜市北部病院 乳腺外科 診療科長
千島 隆司

- 全体テーマ - 「患者中心の医療をめざして」

① e-Learning(オンデマンド配信):2024年1月9日-2024年3月31日

1. チーム医療概論:昭和大学横浜市北部病院 乳腺外科 千島 隆司
2. 疫学・診断・検診:済生会横浜市南部病院 乳腺センター 吉田 達也
3. エビデンスを理解するための基礎知識:総合相模更生病院 薬剤部 大石 将義
4. 局所療法(手術・放射線治療):横浜市立大学附属病院 乳腺外科 山田 顕光
5. 薬物療法・基礎編:中頭病院 薬剤部 山本 紗織
6. 薬物療法・実践編:国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科 下村 昭彦
7. 化学療法の副作用対策:聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 森田 一
8. 緩和支援療法:横浜南共済病院 緩和支援療法科 馬渡 弘典
9. 乳がん看護(総論):神奈川県立がんセンター 看護部 三輪 綾子
10. がん診療とメンタルケア:横浜労災病院 心療内科 塚野 佳世子
11. がん診療とピアランスケア:NPO法人キャンサーリボンズ 山崎 多香子
12. 医療経済およびがんと就労の両立支援:赤羽乳腺クリニック 赤羽 和久
13. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群:済生会横浜市南部病院 乳腺センター 吉田 達也
14. AYA世代患者の支援:昭和大学病院 プレストセンター 渡邊 知映
15. アドバンスケアプランニング:社会医療法人 博愛会 相良病院 相良 安昭

② グループワーク(Zoom ミーティング形式):2024年3月10日 & 3月17日

ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、他職種の受講生と対話をしながら、以下の設定課題に向き合います。グループごとにファシリテーターがついて伴走します。

1. 術式選択
2. 周術期の副作用対策
3. AYA世代の乳がん患者に対する妊よう性温存
4. 進行再発に関わる患者支援

③ 共催セミナー(オンラインセミナー):

2024年1月27日、2月3、10、17、24日、3月9、16、23日(全て土曜日)

※いずれも予定。共催状況により実施無し日程の発生可能性有り。

各企業との共同開催によるセミナーを実施します。専門分野の講師が登場します。